

令和4年5月2日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
学術担当理事 三宅 泉

第33回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」
(2022年7月30日～31日)の開催について

標記の件につきまして神奈川県医師会より通知がまいりましたのでお知らせいたします。
受講をご希望の先生は別紙にて5月26日までに神奈川県医師会 保険医療・学術課へ直接お
申込みくださいますようお願いいたします。

神奈川県医師会
理事 渡辺 雅彦

第33回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」
(2022年7月30日～31日)の開催について

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より本会事業にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について日本医師会常任理事から別添のとおり通知がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への
周知にご配慮くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、受講を希望する場合は、別添の申込用紙にて2022年5月26日(木)までに神
奈川県医師会 保険医療・学術課宛FAX(045-241-1464)にてお申込
くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

保険医療・学術課 担当：加藤

横浜市中区富士見町3-1

TEL 045(241)7000 FAX 045(241)1464

E-mail r-katou@kanagawa.med.or.jp

日医発第 263 号 (生教)
令和 4 年 4 月 22 日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
羽 鳥 裕
(公印省略)

第 33 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」
(2022 年 7 月 30 日～31 日) の開催について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本医師会では、「指導医のための教育ワークショップ」をこれまで 32 回開催してまいりましたが、2021 年度 (第 32 回) は、新型コロナウイルス感染拡大の影響からオンライン開催といたしました。

本年度は新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、現時点では合宿形式での実施を予定し、2022 年 7 月 30 日 (土)、31 日 (日) の 2 日間にわたり第 33 回ワークショップを開催することといたしました。詳細は、別紙 1 および 2 をご参照ください。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによるワークショップに変更する場合があります (下記 5. (4) 参照)。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会や会員へのご案内方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

あわせて、本ワークショップを受講することで、地域医療において、臨床研修および医学生の臨床実習に指導医として携わることに関心と意欲をお持ちの方を都道府県医師会においてご推薦いただきますよう、貴職の特段のご高配をお願い申し上げます。

ご推薦に当たっては、お手数ですが、参加希望者に別紙 4 の申込用紙にご記入いただき、貴都道府県医師会でとりまとめのうえ (別紙 3)、下記の要領にて、本会生涯教育課までご送信くださいますようお願いいたします。

なお、参加申込が多い場合は、抽選とさせていただきます。また、参加管理は全国医師会研修管理システムにて行うため、参加証は発行しないことを申し

添えます。

記

1. 送信いただくもの

(1) 参加申込者送信用紙（都道府県医師会用）（別紙3）

(2) 参加希望者記入用紙（別紙4）

1) 都道府県医師会において(2)を確認・取りまとめのうえ、(1)とともに送信してください。なお、都道府県医師会からの申し込みのみ受け付け、参加希望者本人からの直接の申し込みは受け付けません。

2) 記入に際しての留意事項は(1)(2)の用紙をご参照ください。

3) お申し込みに必要な(1)(2)の word ファイルは文書管理システムの「お知らせ」※に掲載しています。

※文書管理システム URL

<https://www1.med.or.jp/japanese/joho/prefmed/login.cgi>

ログイン後、左上の「お知らせ」ボタンからダウンロードいただけます。

2. 締切：2022年6月3日（金）17：00

※必着。締切日を過ぎた申込は一切受け付けません。

3. 送信先：日生涯教育課（e-mail）

e-mail：syogai@po.med.or.jp（セキュリティにご配慮ください。）

※e-mailでのみ受け付けます。

4. 参加者確定日：2022年6月8日（水）

※都道府県医師会にご報告するとともに、本会より参加者に直接ご連絡いたします。

※いずれも e-mail にて行いますので、必ずご確認ください。

5. その他の留意事項

(1) 参加管理は全国医師会研修管理システムにて行い、本会からの連絡は e-mail にて送信するため、パソコン、スマートフォン、タブレットなどの情報通信機器が必須です。

(2) ワークショップ当日のプロダクト作成や発表はパソコンにて行いますので、基本的なパソコンの使い方、Microsoft Office アプリに十分慣れている必要があります。なお、本会で各グループに1台のパソコンを用意します。

(3) 所属機関の事務担当者による代理申込みで、参加希望者との情報共有ができていない場合が多くなっています。必ず参加希望者本人から確認書・申込書の内容について承諾を得たうえで、申込みようご案内ください。

(4) 新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによるワークショップに変更する場合があります。オンラインの場合には、講習時間等に変更が生じます。オンラインとした場合の実施方法の概略は以下のとおりです。

- 1) インターネット回線を利用したオンラインによるワークショップ（事前学習を含む。）となる。
- 2) 受講者は、各々都合のよい場所からパソコンを用いて参加する（スマートフォン、タブレットでの受講はできない）。
- 3) その他詳細は別途通知する。

以上

日本医師会 第33回「指導医のための教育ワークショップ」

趣旨

わが国の医学教育は、新しい医学・医療の進歩と社会のニーズに対応するため、カリキュラムの改善、共用試験（CBT・OSCE）の標準化などの取り組みが重ねられてきた。令和3年の医師法改正により共用試験が医師法に位置づけられ（令和5年4月1日施行）、診療参加型臨床実習の実質化が期待される。

かかる状況の下、医学部・医科大学では、地域の医療機関における卒前臨床実習がカリキュラムに組み入れられ、さらに医師臨床研修制度においても地域医療研修が必修とされている。

このため、地域医療を担う医師による、医学生や研修医に対する指導が求められており、本ワークショップは、卒前臨床実習および臨床研修制度における指導医としての教育能力を身につけることを目的として開催するものである。

本ワークショップでは、教育目標の設定、教育方法の立案および評価法の策定が重要であることを強調する。

なお、平成21年4月より、本ワークショップをはじめとする医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講したことが医師臨床研修制度における指導医の必須要件となっている。

主催 日本医師会

テーマ 研修医へのカリキュラム立案

日時 2022年7月30日（土）9時00分～7月31日（日）17時00分

会場 日本医師会館 5F会議室

方法 2日間のワークショップ形式（講習時間16時間20分）¹

※宿泊の手配は受講者自身が行うものとし、宿泊料は受講者による自己負担とする。

参加者 24名

都道府県医師会推薦参加者（7年以上の臨床経験を有する者）

*日本医師会員を優先します。

¹ ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによるワークショップに変更する場合がある。オンラインの場合には、講習時間等に変更が生じる。オンラインとした場合の実施方法の概略は以下のとおりである。

1. インターネット回線を利用したオンラインによるワークショップ（事前学習を含む。）となる。
2. 受講者は、各々都合のよい場所からパソコンを用いて参加する（スマートホン、タブレットでの受講はできない）。
3. その他詳細は別途通知する。

申込方法 都道府県医師会を通じて申し込む。

参加費用 日本医師会員 4万円
都道府県医師会会員または郡市区医師会のみ
の会員 6万円
非会員 8万円
*事前にお振込みいただき、当日欠席した場合でも返金いたしません。

修了証 日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」を修了した者に、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」(平成16年3月18日付け医政発第0318008号)に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を発行する。

日本医師会生涯教育制度 14.0単位・9カリキュラムコード
カリキュラムコード

「1: 医師のプロフェッショナリズム」、「4: 医師-患者関係とコミュニケーション」、「5: 心理社会的アプローチ」、「6: 医療制度と法律」、「7: 医療の質と安全」、「10: チーム医療」、「12: 地域医療」、「15: 臨床問題解決のプロセス」、「0: 最新のトピックス・その他」

ワークショップスタッフ

ディレクター

松原 謙二 日本医師会副会長
羽鳥 裕 日本医師会常任理事

チーフタスクフォース

福井 次矢 東京医科大学茨城医療センター病院長

タスクフォース

内田 博 東京都健康長寿医療センター麻酔科専門部長
倉本 秋 一般社団法人高知医療再生機構理事長
小林 大輝 東京医科大学茨城医療センター総合診療科教授
高村 昭輝 富山大学医学部教授
羽金 和彦 宇都宮保健所所長

事務局

日本医師会生涯教育課
〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
e-mail : syogai@po.med.or.jp
TEL 03-3942-6139 (直通)

第33回 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」プログラム
 テーマ「研修医へのカリキュラム立案」(案)

第1日 2022年7月30日(土)

時刻	形式	所要時間	内容
			受付
9:00		10分	プレテスト
9:10			開会 ディレクター・タスクフォース挨拶
9:20	P	30分	参加者他己紹介(2分+2分、1人1分)
9:50	PL	10分	ワークショップとは
10:00	(1時間10分)		GW1:あなたが今思う「理想の医師はどんな医師？」
(10:00)	PL	10分	KJ法
(10:10)	G	40分	I 10分, G 30分
(10:50)	P	20分	発表・討論(各グループ6分40秒 :発表5分、討論1分40秒)
11:10	PL	30分	最近の卒前教育の現状
11:40			休憩(5分)
11:45	PL	30分	医師臨床研修制度の理念と概要・到達目標・修了基準)
12:15	PL	30分	カリキュラムとは
12:45			昼食(50分)
13:35	(2時間40分)		GW2:教育目標
(13:35)	PL	20分	教育目標とは
(13:55)	G	10分	ユニットテーマの選択
(14:05)	G	100分	教育目標作成
(15:45)	P	30分	発表・討論(各グループ10分:発表6分、討論4分)
16:15			休憩(5分)
16:20	(3時間00分)		GW3:教育(学習)方略
(16:20)	PL	20分	教育(学習)方略とは
(16:40)	G	110分	教育(学習)方略作成
(18:30)	P	45分	発表・討論(各グループ15分:発表9分、討論6分)
(19:15)	PL	5分	SPICES model
19:20	P	10分	第1日目の評価記入
19:30			第1日終了

I (Individual work): 個人作業

PL (Plenary lecture): 全体講義

G (Group work): グループ作業

P (Plenary session): 全体討論

第2日 2022年7月31日(日)

時刻	形式	所要時間	内容
9:00	PL	5分	振り返り
9:05	(2時間40分)		GW4:教育評価
(9:05)	PL	5分	プレ教育評価演習
(9:10)	PL	20分	教育評価とは
(9:30)	G	85分	教育評価作成
(10:55)	P	36分	発表・討論(各グループ12分:発表7分、討論5分)
(11:31)	P	9分	教育評価まとめ
(11:40)	PL	5分	ポスト教育評価演習
11:45		昼食	(50分)
12:35	P	5分	教育評価演習結果発表
12:40	PL	30分	コーチング(動画)
13:10	(1時間40分)		SEA ¹ Session
			テーマ:研修医の指導方法
(13:10)	PL	5分	トリガー動画視聴
(13:15)	PL	15分	SEA体験説明
(13:30)	G	15分	SEA体験
(13:45)	PL	5分	「SEA体験」作業指示
(13:50)	G	25分	SEA体験(プロダクト作成)
(14:15)	PL	15分	SEA体験全体発表
(14:30)	PL	15分	SEA体験解説
(14:45)	PL	5分	トリガー動画改善版視聴
14:50		休憩	(5分)
14:55	(1時間25分)		GW5:指導医に求められる資質・能力
(14:55)	PL	10分	KJ法
(15:05)	G	50分	指導医に求められる資質・能力作成 (2次元展開法)
(15:55)	P	25分	発表・討論(各グループ6分、全体討論7分)
16:20	P	5分	ポストテスト
16:25	P	30分	第2日目の評価記入・提出 プレテスト・ポストテスト結果発表 参加者コメント(1人30秒)
16:55			修了証授与 閉会挨拶 閉会
17:15			終了

¹ Significant Event Analysis、事例や症例に関して当事者が深く振り返り、言語化し、今後の改善に対する提言をする。大西弘高、錦織宏、藤沼康樹、本村和久「Significant Event Analysis:医師のプロフェッショナルリズム教育の一手法」(家庭医療14巻1号)4頁。

